

10年後の自分と、京都のまちの、
ミライとモンダイを考える。

京都市基本計画審議会

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

傍聴記

vol.1

第1回総会
議題:この審議会の概要

special version

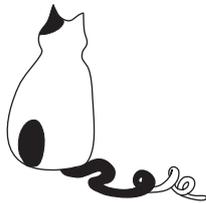
今回は傍聴人兼、総会の
メンバーであり、U35議長
でもある私が、みなさんにこの
審議会の概要をお伝えします！



レポーター 松山大耕さん

1978年 京都市生まれ。
2003年 東京大学大学院
農学科学生命研究科 修了
平林寺専門道場で3年半の修行
の後、2007年より妙心寺退蔵院
副住職。現在、観光庁「Yokoso!
Japan 大使」

Q1.この審議会は、なんのための会？



A1.

京都市の今後10年について、何を指すのか、どう進むのかという、文字通り、京都市の今後10年を決める上での基礎になる方針(=京都市基本計画)を検討する会議です。門川市長が目標とされている、市民と市職員の徹底した参加による共汗で作り上げていくもので、老若男女、様々な分野から、第一線でご活躍の皆様が参加されています。

Q2.どんな人が、どんな事を話し合うの？



A2.

各分野で活躍されている専門家の方々や市民から公募で選ばれた方などが審議に参加されます。その方たちが分野ごとの以下の4つの部会と分野横断的な「融合委員会」に分かれて議論します。

- ・「うるおい部会」:文化・環境・市民生活分野など
- ・「活性化部会」:産業・観光・行政経営分野など
- ・「すこやか部会」:福祉・保健・教育分野など
- ・「まちづくり部会」:都市計画・住環境・都市基盤分野など

Q3.京都市民の暮らしとどう関わり合うの？



A3.

計画については、まず第1次の計画案を出します。それに対してパブリックコメント※(パブコメ)を行い、市民の方々のご意見を伺います。これをもとに第2次の計画案を提出し、再びパブコメを行った後、最終的に審議会が基本計画の答申を行います。市民生活に密着したよりよい計画にするために、パブコメや会議傍聴などを通じ積極的な参加が望まれます。

※注1 パブリックコメント=行政が計画や条例などを制定するときに、広く市民(パブリック)の意見や情報を求める手続きのこと。

今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。
市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう

発行:京都市 編集:未来の担い手・若者会議U35



この審議会を傍聴して、松山さんが思ったこと。

第1回目の印象としては、参加されているみなさんが素晴らしいということです。京都は本当に人材の宝庫だと思いました。私も、みなさんに負けないように積極的な提言をしていきたいと思えます。また、会長の尾池先生の会議の進行が非常にスムーズだと感激しました。私も若者会議の議長として、先生のように、リラックスした雰囲気での発言しやすい環境を作り出さねばと勉強になりました。

「私ならこうしたい！」未来の京都に向けた松山さんの提案

私は若者を代表して、ということでこちらの会議に加えていただいているので、将来にわたって京都の若者が自分を高められるような環境を整備していきたいと思っています。また、目先の利益にとらわれることなく、将来を見据えた持続可能な、安心感のある計画にしていかなければならないと思います。そのためには、京都の若者のみなさんからの積極的なご提案、ご意見が不可欠です。どうぞみなさまも、京都の将来について一緒に考え、行動しましょう!

当日のプログラム

開催日：平成 21 年 10 月 5 日（月） 会場：全日空ホテル

- ・市長あいさつ
- ・会長選出：尾池和夫委員（国際高等研究所所長、前京都大学総長）に決定
- ・諮問
- ・部会等の設置及び役職者の指名
- ・報告「この10年、これからの10年 ～現行基本計画の総括及び京都市を取り巻く現状と課題～」
- ・意見交換

「京都市基本計画審議会」、「U35」とは

「京都市基本計画審議会」とは、10年後の京都を見据えて、今後10年間の京都市の指針となる計画を立てる重要な会議です。「U35」とは「未来の担い手・若者会議U35」のことをいい、基本計画の策定に対し、未来のまちづくりの担い手として、若者ならではの観点から提言を行う、概ね35歳未満のメンバーで構成された会議です。皆さんも会議の傍聴にお越しください。

◇会議の開催結果

■第1回「京都市基本計画審議会」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000070051.html>

■「未来の担い手・若者会議U35」第1回総会

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000069208.html>